

Q11

## 自立活動の指導を充実させるためには どのような工夫が必要ですか？

A11

全教師の協力の下、個々の実態に応じた具体的な**指導方法を創意工夫**することや、必要に応じて専門の医師及びその他の専門家の**指導・助言を求めること**が大切です。

詳しくはこちら



### ○ 指導方法の創意工夫

自立活動の指導の効果を高めるためには、児童生徒が積極的な態度で意欲的な学習活動を展開する必要があります。そのために、次の2点を意識することが大切です。

- ① 特定の指導方法を全ての児童生徒に機械的に当てはめるのではなく、**個々の児童生徒の実態に応じた指導方法**を創意工夫すること。



- ② 児童生徒が興味や関心を持って主体的に取り組み、**成就感を味わう**ことのできるような指導方法を工夫すること。



### ○ 専門の医師等との連携協力

児童生徒にとって最も適切な指導を行うために、児童生徒が利用する医療機関の理学療法士等や、地域の特別支援学校の特別支援教育コーディネーター等、その他の外部の専門家と積極的に連携するなど、必要に応じて**外部の専門家の助言や知見などを指導に生かす**ことが大切な場合もあります。

例えば、内臓や筋の疾患がある児童生徒の「運動の内容や量」、脱臼や変形がある児童生徒の「姿勢や動作」、視覚障がいのある児童生徒の「眼鏡等の調整や調光の必要性」、聴覚障がいのある児童生徒の「補聴器や人工内耳の調整」などについて、学校での指導に生かすため、外部の専門家から指導・助言を得ることなどが考えられます。